

# 令和6年度 宮崎県立高千穂高等学校

## 学校関係者評価表

<スクールミッション:目指す学校像 (本校の使命 本校に要請されているもの 存在意義)>

- (1) 高い目標や理想に向かって自らを鍛錬し、日々の学校生活の中で個性を伸ばしながら、社会における新たな価値を創造し、大道を歩む生徒の育成を目指す学校
- (2) 連携し高め合う教職員による授業を中心に、質の高い多様な教育活動を行うことで、生徒の学力や専門性を向上させ、生徒個々の進路目標の実現を目指す学校
- (3) 協調と奉仕の精神で、家庭や地域社会との連携・協働・共育を推進していくことにより、地域から信頼され、持続的な地方創生の核となることを目指す学校

**校訓** 大道を歩む ～ 鍛錬・協調・奉仕 ～

<グラデュエーション・ポリシー:目指す生徒像>

- (1) 自ら学び行動できる生徒  
学習習慣を確立することで、生涯にわたって学ぶために必要な基礎学力の定着した生徒を育てる。
- (2) 他者と協働できる生徒  
豊かな感性、適切な表現力・コミュニケーション能力を身に付け、仲間と協力して目標を達成しようとする生徒を育てる。
- (3) 地域社会に貢献できる生徒  
地域社会をより良くしようとする当事者意識と行動力を備えた生徒を育てる。
- (4) 多様な価値観を尊重できる生徒  
価値観が多様化する時代に必要な、広い視野と寛容な心を持つ生徒を育てる。

令和6年度 学校関係者評価表

宮崎県立高千穂高等学校

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

	評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果(○)・課題(●)・改善策(☆)	自己 評価	評価	学校関係者評価 コメント
I 生徒の主体性と自律性の向上				B	B	<p>■生徒の自主性向上に関する考察</p> <p>① 生徒を子ども扱いしない 教育の最大の目的は自立ですから、まずは生徒を子ども扱いしないことが大切。地域の特性として過保護、過干渉の傾向があります。今の高千穂高校生を見ていると、私たち昭和世代の頃の中学生のような接し方になっているような気がします。昔の高校生はもっと大人だった。大人から大人扱いされた数だけ生徒の主体性・自律性は向上するはずです。</p> <p>② 生徒の心にスイッチを入れる 人間何がきっかけで心にスイッチが入るかわかりません。大人スイッチをオンにしてあげると生徒は自然に自主的な思考・態度に変化していくはずです。あらゆる可能性を信じて生徒に様々な機会(チャンス・タイミング)を与えること(認めるあるいは許すこと)を提案します。</p> <p>【おもな機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術、文化、スポーツ等個性を伸ばす活動</li> <li>・神楽や農業を優先する決断(家の田植えを手伝うために授業や部活動を休ませてもらう決断)</li> <li>・社会に奉仕する活動(献血など)</li> <li>・命について学ぶ機会・恋愛</li> <li>・アルバイト</li> </ul>
I 生徒の 主体 性 と 自 律 性 の 向 上	礼法指導の徹底 (生徒指導) 初期指導の充実・高校生としての自覚の醸成 (1学年)	・礼法指導や生活の記録の活用を通して、規則正しい生活習慣の確立を図る。(1学年) ・礼法指導の目的と意義を生徒及び全職員が共通理解し、生徒が主体となりながら、機会があるごとに指導を積極的に行う。(生徒指導)	○礼法は授業の開始終了の挨拶が元気でできている。(生徒指導) ○生活リズムが著しく乱れている生徒はいない。今後も生活の記録を活用する。(1学年) ☆全職員が日常より常時指導を心がけることが大事であり、職員自身も挨拶等をしていく必要がある。(生徒指導)	A	A	
	先を見据えた指導・進路実現に向けた指導 (2学年)	・行事予定の確認や、特別活動の意義を発信する。 ・HRでの積極的な情報発信を行うとともに、進路 google classroom の確認・活用を行う。	○クラスルームを活用し、情報の提供をすることができている。 ●進路について2年次までに本格的に考えている生徒が少ない。☆面談や職業体験ガイダンス、オープンキャンパスへの参加を通して自分の進路について考えさせたい。	B	B	
	学力を補完する指導の充実・資格取得指導の充実(3学年)	・自己学習時間(授業外の学習時間)に主体的な学習活動を行う。 ・進路実現のためだけの学習ではなく、主体的・継続的に自ら学ぶ姿勢を育成する。 ・日程や時間の管理を徹底し、主体的生活習慣の確立を図る。	○受験に必要な学力をつけるために、1学期から朝読書前に教員と学習会を実施するなど意欲的に取り組む姿が見られた。 ○自分の進路を真剣に考え、それぞれの目標に向かって学習を積み重ねることができた。進路決定後も学習習慣を維持できている生徒が多い。	B	B	

I 生徒 の 主 体 性 と 自 律 性 の 向 上			●受験に必要な手続きや提出書類の締切、推薦指導の準備など、スケジュール管理が出来ていない生徒が多かった。			・文化祭（企画から運営・実施まで信頼して任せる）・まつり など ③ 生徒に自信をつけさせる 自信がないと大人だって消極的になります。自己肯定感の低い人は表情や態度・言葉づかいに自信のなさが出ます。また、準備が不十分なきも消極的になります。学校だけでは無理です。ご家庭や地域の方々に協力してもらいながら、生徒自身が自分は何者なのかと考えるきっかけを与えると良いと思います。 【おもなきっかけ】 ・人の役に立ったという自信 ・地域人材の一人なのだという自信 ・設定した目標を達成したという自信 ・人に認められたという自信 ・親友、恋人ができたという自信
	計画的な特別活動の観点別評価の実施（教務）	・特別活動の観点別評価を通して生徒の自己肯定感を育み主体性の向上を目指す。	○特別活動のふりかえりシートを活動前に配布することで目的を意識させることができた。	B	B	
	充実したカリキュラム編成（教務）	・新学習指導要領に対応したカリキュラムの完成年度における検証と改善。	○令和7年度に新課程に対応したカリキュラムが完成し、令和8年度以降についても検討を進めることができた。 ☆特に普通科普通コースについて、より特色ある開設科目の検討を進める。	A	A	
	部活動の活性化（生徒指導）	・部活動加入を積極的に呼びかける。また、技術指導だけでなく、生活指導に力も入れる。	○どの部活動においても熱心に毎日の活動に取り組んでいる。 ●現在、部員不足で活動ができていない部がある。生徒の要望に応えながら適切な部活動数の維持を検討する必要がある。	B	B	
	環境の美化と整備の充実（生徒指導）	・師弟同行による清掃の徹底を図り、校内の美化・緑化に取り組む。	○日頃の取組は非常に良い。 ●環境作りの重要性、清掃道具の丁寧な扱い方なども常時指導が必要である。	B	A	
	総合的な探究の時間の充実（進路指導）	・生徒と全職員による総合的な探究の時間の実施。 ・ICTを活用して効果的な情報発信を行う。	○担当の割り振りを行い、2月の発表会に向けて多くの先生方に協力してもらった。 ●フィールドワークやアンケート、インタビューなどの活動を充実させたい。 ●中学校での活動から高校への活動へうまく連携が取れると良い。	B	A	■全般的に礼法をよく指導されていると感じます。 将来の目標、進路等、何が自分に向いているかは、経験値の不足、情報量の多寡があり決めるのはなかなか難しいと思います。将来の職業を高校生の時に確定させなくてもよい気がします。ワクワクするものを見つけられればラッキーと思います。 生徒数が少ない中で多様な部活動がある。外部から指導者を継続して招くのも今後は厳しくなるかもしれません。 校内は清掃が行き届いていると感じます。 複数日にわたるフィールドワーク

I 生徒の 主体性 と 自律性 の 向上	読書活動の推進、読書意欲の喚起(図書渉外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書だより」発行</li> <li>・図書館整備</li> <li>・企画、イベント、キャンペーンの実施</li> <li>・読書量調査の定期的な実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の図書館だよりの発行ができた。卒業記念号も、生徒会図書委員長を中心に、生徒主体で進めた。</li> <li>○夏休み中、図書委員と蔵書点検及び書庫整理をしたことで、約 2,000 冊を廃棄できた。</li> <li>○読書量調査を定期的実施。図書館の貸し出し数が増加した。</li> </ul>	B	B	<p>は時間の確保が難しいと思います。無理のないスケジュールを組んでください。</p> <p>不登校生徒に対するケアは神経を使うと思います。教師のメンタルケアも大切です。</p> <p>■生徒の性格には個人差があるため一概には言えませんが、何か意見を求めたら直接指名されないと意見しない生徒が多々見受けられます。</p> <p>自分から手を挙げて進んで意見が言えるように以下の方法がいいのではないかと考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な取組みをした後に必ずグループ発表(報告や感想・提案)を行う</li> <li>・テーマを与えたグループディスカッション形式を積極的に取り入れる</li> </ul> <p>■生徒のあいさつや生活態度等は素晴らしと感じております。また、明るさなどから元気をいただいています。</p> <p>■環境美化については、年に数回の学校締訪問でしたが、ゴミが落ちていたり、ホコリが目についたりしたことがありませんでした。また道具が片付いてないといったこともなく、日頃から学び舎を先生も生徒も大事にされているのだらうと感じていました。</p> <p>それぞれが課題をみつけて探究学習をすることは素晴らしいと、発表を聞いて感じました。ただ、アンケートやインタビューの母数が多くなるような工夫があればさらに現状把握ができ探求が深まると思いました。</p>
	健康安全教育の推進(教育相談)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の健康に興味・関心をもたせ、自己管理能力や危機管理能力の育成を図る。</li> <li>・生徒保健委員会の活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教育推進事業で3年生に産婦人科の講演を実施。就職・進学を控えるこの時期に実施できて良かった。</li> <li>○感染症の大きな流行はなかった。保健委員へ働きかけ予防に努めたい。</li> <li>●体育や部活動での怪我が発生している。事故防止と発生時の対応について情報提供や必要物品について見直していきたい。</li> </ul>	B	B	
	教育相談の充実(教育相談)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの心身の健康状態の把握に努め抱えた悩みや問題の早期解決への支援を行う。</li> <li>・いじめ等が未然に防げるよう、担任・学年会等関係職員・生徒指導部・保護者との連携強化を図り、柔軟かつ速やかに組織的に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒アンケートや面談を通して、早期に問題を把握し、職員間の情報共有に努めている。</li> <li>○精神的に不安定な生徒、欠席や遅刻が多い生徒へ担任を中心に本人・保護者との密な連絡のやりとり、学年と教育相談の連携、SC(スクールカウンセラー)によるカウンセリングやSSW(スクールソーシャルワーカー)による面談、相談室の利用を促したりする等、生徒に寄り添った対応を実施。</li> <li>●不登校傾向の生徒に対して、担任を中心に連絡を密に取り、SCとの面談を実施。外部機関とも連携しながらケース会議等を行い、生徒自身のニーズ把握、状況の改善に努めることが必要。</li> </ul>	A	A	

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

	評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果(○)・課題(●)・改善策(☆)	自己 評価	評価	学校関係者評価 コメント
2 生徒の学習力・学力の向上				B	B	<p>■特進コースを除き、各コースの学習体系は充分だと思えます。 地域の中学生のニーズに関する考察</p>
2 生徒の 学習力・ 学力の 向上	学力を補完する指導の充実・資格 取得指導の充実〔再掲〕	<p>&lt;3年生&gt; 生徒の将来を見据えた適切な進路情報を提供し、面談を通してよりよい進路選択の支援を行う。また、積極的な資格、検定の取得を促し、生徒の意識を高める。</p>	<p>&lt;3年生&gt; ○各クラスで進路に関する二者面談・三者面談を受験先が決定するまで何度も実施し、生徒の希望に添った進路先を決めることができた。 ○進学・就職ともに受験した生徒のほとんどが内定・合格できた。 ●民間企業、公務員、国立大学で数名の不合格者が出ている。全員の進路先が決定するまで生徒のモチベーションが低下しないよう指導していく。</p>	A	A	<p>① 勉強も大事。でも楽しい高校生活を送ることの方が大事 地域の中学生が、勉強を一生懸命やって大学進学を目指すイメージがあまりありません。そういう子は延岡高校を目指すでしょう。 ② 推薦に強い高千穂 高千穂高校の特色をだすためにも探究や課外活動、剣道部が充実している点をもっとアピールしてほしいです。「推薦に強い高千穂」 ③ 高千穂といえば農業 生産流通科の専門性は他校との差別化をはかる大きな魅力です。ドローン活用事例や加工品製造販売等、先進校や民間企業に学び、多いにアピールしてほしいと思えます。 ④ 観光のまち高千穂 情報ソリューション科については、観光に関する授業が最大の特徴であり魅力です。ただ、初の取組であった高校生ホテルは発表会に参加させていただきましたが、お世辞にも優秀といえる内容ではなかったと思えます。でもあそこからスタートでいいんです。今後も</p>
		<p>&lt;2年生&gt; 自宅学習とラボの利用や放課後の勉強など授業外で勉強する習慣をつけさせる 資格・検定の取得への挑戦を促し、キャリアパスポートを活用して活動の記録も行わせる</p>	<p>&lt;2年生&gt; ○資格取得に向け教科担任に指導を受け継続して頑張る生徒の姿が見られる。 ●新規に資格取得を希望する生徒が増えていない。検定に対する意欲を持たせることが不十分だった。常日頃から資格取得の重要性を伝える必要がある。</p>	B	B	

2 生徒の 学習力・ 学力の 向上		<p>&lt;1年生&gt; 生活習慣の確立を通して、学習習慣を身につけさせる。 資格・検定の取り組みへの挑戦を促し、活動の記録も行わせる。</p>	<p>&lt;1年生&gt; ●学習量実態調査で勉強する生徒としない生徒が固定化してきている。 ☆進路実現に向けて何が必要かを提示し、主体的に取り組むように促す。 ○毎日の学習習慣が身につけている生徒が多く、課題の提出状況等も概ね良好。 ●目標の学習時間を達成できている生徒は3~4割程度。 ☆課題以外の自分の将来に必要な学習に、主体的に取り組むよう促す。 ○2組の検定取得率については70%を超えることができた。</p>	B	B	<p>がんばって継続してほしいです。 また、就職先で即戦力となり得る資格取得に向けた強力なサポートをお願いします。ITパスポート等。 ■先が見えづらい世の中での指導はなかなか難しいですね。 公開授業ではタブレットを活用しての授業を見ました。傍からでは何をしているかわかりにくい面がありました。授業力の向上に役立っているなら良いと思います。 業務が多岐にわたり、確認事項が多く大変だとお察しします。 SNSは大人も含め避けては通れない問題で、指導の方法は難しいですね。 学校行事には積極的に取り組んでいると感じました。 ■西白杵の地域性や特色を活かした専攻科もしくはコースの新設 (例：農業建設土木・畜産・林業・建築) ※私立ではありませんが、来春、延岡学園が先日(IT人材育成)学科新設を行うと聞きました。 普通科であれば有名国立大学への合格、情報ソリューション科や生産流通科であれば有名企業などへの就職内定などが学校PRや魅力に繋がるのではないかと ■観光の実践的な学習は高千穂ならではの、とてもよい学習と思う。 高千穂高校の武器になると思う。 プレゼン力は、社会に出てからも求められる力。学習成果の発表などの機会に、工夫を重ねてブラ</p>
	指導と評価の一体化(教務)	<p>・観点別評価について、指導と評価の一体化の実現に向けて段階的に進める。</p>	<p>●評価の在り方について、各教科で議論する機会を作り、来年度へ向けたシラバスの改善が必要。</p>	B	B	
	授業力の向上(教務)	<p>・研究授業・公開授業を充実させる。</p>	<p>○研究授業に関しては、初期研修の教員における授業を含め、各教員の工夫した授業研究が見られ充実したものとなった。 ●研修実施により自習が発生することに対して、特編対応などの運用面での改善の余地がある。</p>	B	B	
	業務の効率化(教務)	<p>・校務支援システムの確実な運用 ・情報機器の効率的運用 ・効果的な日程調整</p>	<p>○成績入力ミス及び欠課字数確認のため、一覧表印刷前に生徒確認を実施。 ○ペーパーレス化実施中。 ●情報共有の手段が多岐にわたり、連絡漏れも見受けられるため細心の注意が必要。 ○授業実施時間調査を行い、曜日変更・授業カット時の対応を実施。</p>	B	B	

2 生徒の 学習力・ 学力の 向上	人権教育の推進（生徒指導）	・いじめ問題や SNS 問題、不登校生徒の早期発見に努め、保健・教育相談部と連携して組織的に指導・援助を行う。	●特定の場面における衝動的な行動や安易な考え方が重大な問題に発展することを継続的に指導していく必要がある。 ☆スマートフォンについて生徒向けの研修を実施。今後、人権教育と連動していじめ問題や SNS 問題について取り扱っていく効果的な指導の在り方を検討。	C	C	ツシユアップをすることでさらなる力をつけてほしいと思う。また他校生との交流の機会もパワーアップするチャンスなので、これからも多くの校外イベントにも参加してほしい。 いじめの問題等は、様々なケースがあり一つとして同じものはない。どのケースも慎重に丁寧に対応していただきたい。 多様性を認める、受け入れる教育もよろしくお願いします。 文化祭に初めて参加しました。とても楽しかったです。生徒のみなさん輝いていました。お弁当の販売も校外の方の協力をいただき、地域に根差した高校であることを強く感じました。 運営協議会の中で読書活動に関する取組の事業がありませんでしたので次年度は何かしらの事業報告をいただけたらと思います。 保護者との関係の構築も引き続きよろしくお願いします。
	学校行事の活性化（生徒指導）	・学校行事の企画段階から生徒会等の意見を取り入れ、生徒の主体的な活動を引き出す。	○生徒会が中心となり、各種行事や校則改定に取り組んだ。生徒の意見が反映されるような取り組みを実施。校内美化コンクールなど、委員会発信の自主的な取り組みが見られた。	A	A	
	学力を補完する指導の充実（進路指導）	・校外模試、スタディサポート、進路マップの実施 ・各学科・教科との連携により、生徒の進路実現に必要な学力養成のための各種課外・講座・テストを企画する。	○普通科担任会にて、2年進級時の普通科コース選択について確認ができた。 ○3年特進コースでは、オープン模試等生徒の進路希望に応じた模試を実施できた。 ●就職試験ではミスマッチを防ぐ指導が必要。 ●3年生生徒の面接練習の動き出しが遅かった。	B	B	
	読書を通じた活字を読むことによる、文字力、語彙力、文章読解力の向上（図書渉外）	・学級文庫の設置 ・「読書強化週間」の設定（各学期1回）	○学級文庫の設置を実施した。 ○移動図書の充実を図り、昼休み以外でも貸し出しができるようにした。 ○朝の読書活動が定着している。 ●生徒の進路実現につながったか等、読書推進に係る何らかの検証が必要である。	B	B	

<p>2 生徒 の 学 習 力 ・ 学 力 の 向 上</p>	<p>教育相談の充実 (教育相談) [再掲]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの心身の健康状態の把握に努め抱えた悩みや問題の早期解決への支援を行う。[再掲]</li> <li>・いじめ等が未然に防げるよう、担任・学年会等関係職員・生徒指導部・保護者との連携強化を図り、柔軟かつ速やかに組織的に対応する。[再掲]</li> <li>・長期相談室(保健室)利用者、長期欠席者への支援。[再掲]</li> <li>・教育相談室の活用を図り、教育相談に関する情報を収集・発信。[再掲]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒アンケートや面談を通して、早期に問題を把握し、職員間の情報共有に努めている。[再掲]</li> <li>○精神的に不安定な生徒、欠席や遅刻が多い生徒へ担任を中心に本人・保護者との密な連絡のやりとり、学年と教育相談の連携、SCによるカウンセリングやSSWによる面談、相談室の利用を促したりする等、生徒に寄り添った対応を実施。[再掲]</li> <li>●不登校傾向の生徒に対して、担任を中心に連絡を密に取り、SCとの面談を実施。外部機関とも連携しながらケース会議等を行い、生徒自身のニーズ把握、状況の改善に努めることが必要。[再掲]</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>	
---	--------------------------------	---	--	----------	----------	--

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

	評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果 (○)・課題 (●)・改善策 (☆)	自己 評価	評価	学校関係者評価 コメント
<b>3 生徒と地域の交流の質・量向上</b>				B	B	■二年目のレオクラブに期待していたが、ある程度大人のサポートが必要だったのかも。レオクラブの最大の強みは自らの知恵で地域に必要なボランティアを見つけ出し、計画実行する機会を生徒に与えることにあります。すなわち自主性を育む訓練で高千穂高校生にもっとも必要な課外活動だと思っています。 □全国枠対応の下宿の課題に関する考察 初年度募集結果(9名のうち2名が下宿対応)から、毎年MAX2~3件のホストファミリーが必要。 ① ホストファミリーの確保 来年度(MAX2~3件)までは見通しがたっているのではないかと思います。問題は次の年度。理解者を増やす必要がありそう。 ② 既存の寮への影響 剣道部への入部を希望する生徒が増えた場合、寮の定員オーバーが気になります。この問題は五ヶ瀬中学校の生徒が高千穂高校を志望しない理由にも関連しています。 ③ 将来的に全国枠専用の寮をこのくらいの勢いで生徒さんが集まると良いですね。
3 生徒と 地域の 交流の 質・ 量 向上	教育活動の可視化(教務)	・公開授業の充実 ・オープンスクールの充実 ・行事の効果的な企画・運営	●公開授業週間の来校者は前年度と変わらず少なかった。地域や保護者の参加を促す対策が必要。 ○オープンスクールは実施時期等の課題は残るが内容は充実してきた。 ○卒業のしおりの部活動実績について意見を集約し改善を進めた。	B	B	
	ボランティア活動への積極的参加 地域との交流推進 (生徒指導)(1・2・3学年)	・地域から依頼のあったボランティア活動への積極的な参加を呼びかける(生徒指導)(1・2・3学年)  ・部活動単位での地域の行事参加を推進する。(生徒指導)  ・保護者や地域関係者と連携を取り、地域とのつながりを大切にしたい学校づくりを行う。また、生徒に地域の諸活動への参加を促す。(1・2・3学年)	○生徒指導部にてボランティア参加の証明書を作成し、生徒が記録し、自己肯定感を高められるよう工夫した。(生徒指導) ●小学生の見守り活動、ボランティア活動においては参加者が固定化し、減少している傾向にある。(生徒指導) ☆部活動や各種委員会などに呼びかけを行うなど、参加者を増加させる手立てを考えていく。(生徒指導)  ○3年生は2学期に受験する生徒が多く、地域活動に参加しにくい状況の中、進路決定者を中心に地域のイベントや神楽などに積極的に参加していた。(3学年)	B	B	

3 生徒と地域の質・量向上	多様な進路実現へのサポート (進路指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大人と話そう」を計画し、生徒が多くの人とコミュニケーションを取る機会を設ける。</li> <li>・西臼杵郡内事業所ガイダンスの実施</li> <li>・小国町探究プログラムの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大人と話そう」では、さまざまな経歴を持つ講師を迎えて実施できた。また、講師の方のプロフィールを踏まえて選択する、質問内容を考えておくなど事前指導が丁寧にできた。</li> <li>○ 地域に生きる大人をロールモデルとし、自分の将来に対する考えを深めることができた。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>□部活動の指導者支援と連携に関する考察</li> <li>① 現状の連携体制 私の知る限りでは、相撲部、野球部、サッカー部、弓道部は地域の方との連携があったと思います。</li> <li>② 指導者支援体制 指導者として協力支援体制があるのは、野球部、サッカー部、弓道部だけでないでしょうか。基本的には地域のOBが中心に支援していると思います。</li> <li>③ 部活動指導の将来像 部活動指導は先生はもちろん、学校経営にとっても大変な労力が必要で重大な課題だと思います。中学校の部活動が社会体育指導員に移行していくことは知っていますが、公立の高等学校もいずれそのような判断になっていくと思っています。ますます地域の方との連携が重要になってきますね。</li> <li>■私は、高千穂高校の部活動の入部率が低いと感じています。まずは、日頃の学習も大事ですが、私が小学生のサッカー監督をしているためスポーツを通じて、たくさん大切なものを学べることも理解できます。どのような活動をしているか知ってもらう機会をつくるため・部活動PR動画作成や高千穂高校HP上での紹介</li> <li>・各種目によって高千穂高校OBやスポーツ選手を招いた小中学校との交流教室の開催・積極的な部活動への勧誘</li> </ul>
	P T A 関係行事への積極的な参加、保護者との交流 地域の人々と積極的に交流し、地域文化と郷土への愛着心を醸成する。(図書渉外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来どおり、P T A ・保護者との連携を図りながら、生徒にもP T A 活動への協力を促す。(環境美化活動、文化祭、うずめセミナー他)</li> <li>・在校生にも、同窓会(おがたま会)の意義を伝え、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ P T A 総会出席率が以前よりも微増した(出席率 86%、委任状込み 95%)。</li> <li>○ 年 3 回の P T A 環境美化活動に保護者参加は約半数(延べ人数)、また、生徒の参加も、100名を超えた。</li> <li>○ P T A 各種専門委員会、学年会、県高P連県北大会、歩こう大会炊き出し等で充実した取組が行われた。</li> <li>●P T A 総会資料のペーパーレス化について推進の検討が必要。</li> <li>☆著名な卒業生による講演会の企画等にて同窓会、関係機関が連携して郷土愛、母校愛の醸成、モチベーションの向上を図る。</li> </ul>	B	A	
	教育相談の充実 [再掲]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ等が未然に防げるよう、担任・学年会等関係職員・生徒指導部・保護者との連携強化を図り、柔軟かつ速やかに組織的に対応する。[再掲]</li> <li>・教育相談室の活用を図り、教育相談に関する情報を収集・発信。[再掲]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校傾向の生徒に対して、担任を中心に連絡を密に取り、SC との面談を実施。外部機関とも連携しながらケース会議等を行い、生徒自身のニーズ把握、状況の改善に努めることが必要。[再掲]</li> </ul>	B	B	

<p>総合的な探究の時間の充実 (進路指導) [再掲]</p>	<p>・地域の課題や解決方法について、横断的・総合的に考察する資質や能力を育成する。(1・2学年)</p> <p>・探究や「大人と話そう」などの行事を通して、地域の方との関わりを増やしていく。</p>	<p>○3回の「大人と話そう」や上級出前講座では、将来への視野を広げることができた。</p> <p>○グローバルリーダーズサミット(えびの市にて開催)や延岡市で実施したフィールドワークを通して、自らの地域の課題や魅力について、地域外からの視点で考える機会を得た。</p>	<p>A</p>	<p>A</p> <p>■ボランティア活動は参加者が少ないとのことですが、地域との交流はよくできていると思います。「大人と話そう」は良い企画だと思います。</p> <p>■私が日之影町出身のため日之影町の視点でいくつかの要因と思われる旨を書きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は高千穂鉄道があり通学が各駅から可能だった。現在は、日之影町からであれば親の送迎が必要不可欠である</li> <li>・選択肢が増え、興味のある学校の情報をインターネット上で気軽に調べられる</li> <li>・工業系の高校では多様な資格取得や就職内定率(有効求人会社数)が魅力的である</li> </ul> <p>□各地域の高校も行政と連携もしくは学校独自で下宿受入れの募集をしている。近年の物価高の影響などもあるため、町民に下宿受入れを募集するのは一時金10万円のみでは困難だと思います。(一時的ではなく継続的な補助対策が必要)行政や議会と連携して宮崎県に生徒下宿寮建設(増設)の要望、もしくは空き家を利用した下宿施設の整備などを提案します。</p> <p>■公開授業などで生徒の自主性などが見られ大変良かった。地域の方々の参加が可能であるのなら、町の協力など、幅広く広報していただくのも良いのでは。更なる地域との密着を期待いたします。</p>
<p>■高校生活の総てを学校に委ねることなく高い関心を持つ保護者が多いことは学校との関係性がよいことの一つのゲージとしました。生徒の健全な成長につながるのだと思います。</p> <p>地域での高千穂高校生の活躍は多くのメディアで取り上げられていますので万人周知ですし、地域の方も高い評価をされていると感じています。</p> <p>五ヶ瀬町出身の生徒は多くはありませんが、出身関係なく町内のイベント関わってもらえるようイベントの関係団体へと繋ぎたいと思います。</p> <p>「大人と話そう」はとてもいい企画だと思います。参加する大人にとっても、生徒から刺激をもらい充実した時間になったと感じました。続けていただきたいと思います。組織や行政の代表だけでなく、地域の魅力人(達人)リストがあるといいですね。</p>				

<重点目標と主な達成手段> A:充分達成(80%以上) B:ほぼ達成(79~60%) C:やや不足(59~40%) D:かなり不足(39%以下)

評価項目 評価指標・目標	主な取組	成果 (○)・課題 (●)・改善策 (☆)	自己 評価	評価	学校関係者評価 コメント
<b>4 生徒の力を生かした学校魅力発信の促進</b>			B	B	<p>■今年にはテレビにもたくさん取り上げられて充分PRできたと思います。この動きを継続してほしいと思います。SNSでの情報発信も効果的だったと思います。</p>
教育活動の可視化(教務)[再掲]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業を充実</li> <li>・オープンスクールの充実</li> <li>・行事の効果的な企画・運営 [再掲]</li> </ul>	<p>●公開授業週間の来校者は前年度と変わらず少なかった。地域の・保護者の参加を促す対策を考えたい。</p> <p>○オープンスクールの実施について、課題は残るが内容は充実してきた。[再掲]</p>	B	B	<p>■学校パンフレットはよくできていると思います。更に充実させるとなるとハードルが高いですね。</p> <p>高校生が観光案内をするのは話題性があって、誘客にも効果があると思います。</p> <p>特別支援教育の推進には熱心に取り組まれていると感じました。</p> <p>保護者対応はご苦労が多いとお察します。</p> <p>生徒の自己肯定感の向上に貢献しているなら成果が出ていると思います。</p>
生徒会と連携した学校魅力発信(教務・生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な学校パンフレットの作成</li> <li>・学校説明会の充実(教務)</li> <li>・HPの効果的な運用(教務)</li> <li>・代議委員会、企画委員会を中心とした校内外への積極的な情報発信(生徒指導)</li> </ul>	<p>●来年度はパンフレット形式をHPと連携させるなど、8ページ構成に変更予定</p> <p>○ポスター配布のボランティアを募り生徒主導で配布を行った。</p> <p>○学校だよりの発行で学校の取り組みを地域にPRできた。</p> <p>○学校説明会は、生徒指導部と連携し実施できた。新しく西米良・椎葉からも依頼を受け出向いた。</p> <p>●情報を蓄積し次年度に繋げる手立てが必要。</p> <p>○HPの運用について、適切なタイミングで情報を提供し効果的に運用できている。</p> <p>○年間を通して多くの学校行事でのメディアの取材など学校外へのPR活動は行っている。(教務)</p>	B	A	<p>■西臼杵郡内近隣中学校との連携を更に密にさせていただき、高千穂高校にしかないようなカリキュラムに取り組み、学校の魅力を更に充実発信していただきたい。</p> <p>私たち地域住民も企業も、その責任を果たすため、更なる協力をさせていただきたいと思いますので、様々な場面で広く情報発信や協力要請をしていただければありがたいです。</p>

4 生徒の力を生かした学校魅力発信の促進			☆SNS や HP を利用した情報発信など計画的な PR 活動を考える必要がある。(生徒指導)			高千穂高校、高校生徒の皆さんは、これからの西白杵の発展などのキーマンでもあると思いますので、地域と共に更なる発展を期待しております。
	近隣中学校と連携した進路指導の充実(教務・進路)	・未来探究〔2年普通コース〕を充実させ進路意識の啓発を図る。(教務) ・中学生を巻き込んだ上級学校出前講座と進路ガイダンス(職業体験)の実施。	●未来探究では生徒の取組の差が大きかった。(教養・国際)また、月曜カットなどの回数減が厳しい。 ○観光案内を2回実施できた(国際)、ビジネスマナー講座など就職コーディネーターとの連携により充実した講座になった。(教養)	B	A	■SNSのタイムリーな発信は、生徒の学校生活がとてもよくわかります。引き続き力を入れていただきたいと思います。また、学校だよりもSNSにやや遠い世代の方にとっては大きな情報源です。こちらもよろしくお願ひします。 学校行事や生徒の活動がメディアで紹介されるのは大きなPRになります。地域の高齢者からも「高千穂高校生、頑張ってるよね」の声をよく聞くようになりました。
	読書活動に係る対外的なイベント、コンクール等への積極的な参加(図書渉外)	・関係団体が主催するイベント等を確認し、情報提供し、応募を促す。	●対外的なイベント、コンクールには、参加を希望する生徒がいなかった。より積極的に働きかけが必要。	C	C	近隣中学校との連携はこれからも力を入れていただきたいと思ひます。中学校の先生にとっても地元の高校をより深く知る機会になると思ひます。
	特別支援教育の推進(教育相談)	・自立や就労を目指し、生徒の実態に応じた社会技能(ソーシャルスキル)を獲得させる。	○心のバリアフリー活動等を利用して、しろやま支援学校の生徒との交流活動を計画的に実施することができた。お互いの生徒が生き生きと活動しながら交流を深めることができた。 ●特別支援について、生徒・保護者・職員への情報提供等をしっかりと行い理解啓発を図る必要がある。	A	A	これからも高千穂高校が、生徒にとって魅力ある学校、地域にとって魅力ある学校であってほしいし、存続する学校であってほしいと思ひます。そのために何ができるのかを考えていたいと思ひます。
	保護者との連携(1・2年生)	・保護者との連携を大切にし、信頼関係を深める。	○各 HR 担任が学級通信等でクラスの様子を定期的に配信。また、保護者とも定期的に連絡を行うことで信頼関係の構築につながっている。(1・2年生)	B	B	
部活動の活性化 環境美化と整備の充実(1・2年生)	・学校における生活環境や学習環境整備の徹底	●ロッカーの整理整頓や授業中の準備物などから私物の管理を徹底させる指導が引き続き必要(1・2年生)	B	B		

	<p>生徒にとっての魅力向上と発信(3年生)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとっての魅力ある学校づくりを行うことで、生徒が確かな満足感を持ち、自ら学習や部活動での成果、学校での様子などを積極的に発信する。</li> <li>・学校行事や学級活動への積極的な参加を促すことで、生徒の自己肯定感を高め、自信をつけさせる。</li> <li>・生徒によるクラス通信(学科通信)を作成し、Google Classroom 等で他クラスにも発信する。(3年生)</li> </ul>	<p>○神舞祭文化の部のステージ発表では3年生らしい堂々とした振る舞いが見られた。また、準備・片付けなどにおいても率先して取り組み、下級生の見本となった。</p> <p>●生徒が作成するクラス通信が、まだ作成できていないので、全クラスの完成を目指す。</p>	B	A	
--	----------------------------	---	---	---	---	--